

同意書

浜松医科大学医学部附属病院 病院長殿

私は、担当医師より 別紙 放射線治療（腹部） に記載されている項目（病状・目的・内容・注意事項・合併症・偶発症・他の方法について・何もしなかった場合に予想される経過・その他）について十分な説明を受け、理解しましたので、下記のとおりとします。また、実施中の緊急の状況に際して、医師が適切と判断した場合の診療行為にも下記のとおりとします。

同意する

同意しない

署名年月日

署名時刻

署名場所

外来

患者署名

- 患者が未成年の場合や署名・判断が困難な場合は下記に記入（患者が未成年の場合、原則として親権者の署名が必要）

代理人署名

患者との続柄

（代理人が代諾する場合は、「患者署名」欄に患者名を代署してください）

代理人住所

代理理由

同意書は、その後変更できないということではありません。考え方が変わったり、さらに説明を求めたりした結果、同意内容を撤回することもできます。お気軽にスタッフへご相談ください。

放射線治療(腹部)

に関する説明書

患者さんの氏名等：

A. 病状

上腹部

B. 何もしなかった場合に予想される経過

病状が進行する可能性があります。

同意書をいただいた後でも同意の撤回ができます。その場合は下記の連絡先の主治医にご連絡ください。

C. 目的

☒ 病気の制御 ☒ 疼痛の緩和 ☐ 局所再発の予防 ☐ その他

を目的として、

放射線治療を行います。放射線治療とは、X線や電子線、ガンマ線などの放射線を用いて、腫瘍などに対して行う治療です。

D. 内容

週 5 回、合計 28 回 (総線量 50.4 Gy) を予定していますが、効果や副作用の程度により回数を変更することもあり得ます。

E. 注意事項

放射線治療の流れ

①【CT撮影】 撮影予定日： ☒ 本日 ☐

放射線をあてる範囲を決めるため、CTを撮影します。
その際、からだに3箇所程度、マジックでマークをつけます。



②【治療計画】 CT画像をコンピュータに送り、医師・放射線技師が、治療する範囲、放射線のエネルギー、量などを決定します。治療計画には通常数日以上必要です。

③【治療開始】 開始予定日： 1/17/69

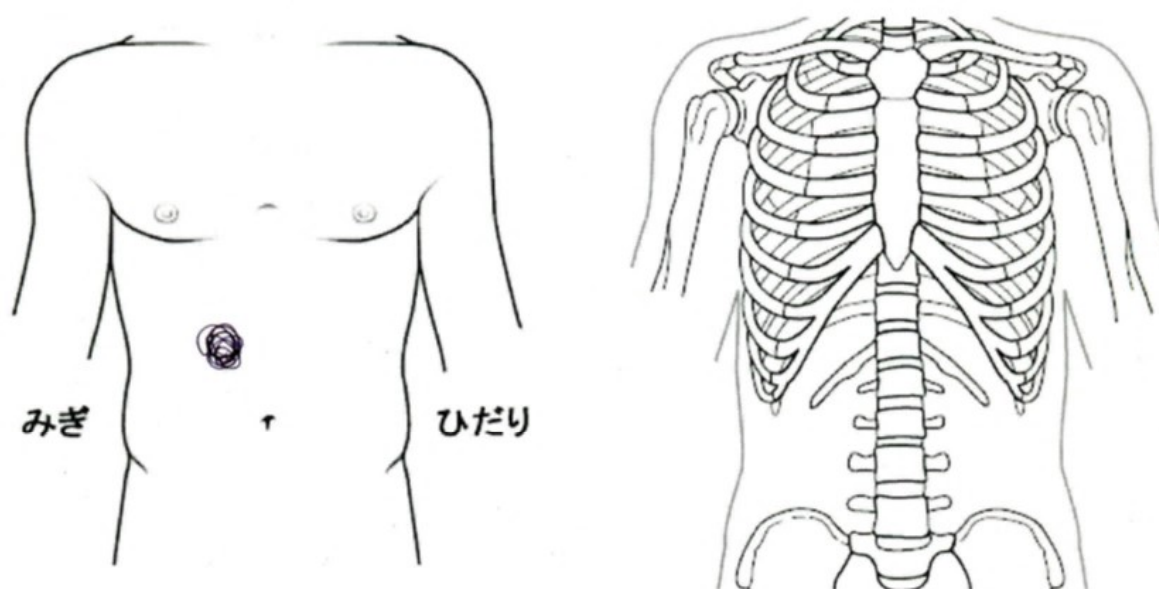
放射線治療は、通常1日1回で、月曜日から金曜日まで毎日行います。(土・日・祝日はお休みです)。

通常、1回にかかる時間は10-15分程度で、実際に放射線が出ている時間は2-3分程度です。

治療中は、痛みや熱さは感じません。



放射線をあてる範囲



F. 合併症・偶発症

放射線治療の副作用は、治療期間中～治療後比較的早期に起こる副作用（早期有害事象）と治療後数ヶ月から数年後に起こる副作用（晩期有害事象）に大きく分けられます。副作用の内容や程度は、治療する部位や範囲などにより異なります。ここに示す副作用が必ず起こるということではなく、また、それぞれの副作用が起こる頻度やその程度は、放射線をあてる範囲や放射線の量により異なります。

治療中に起こる副作用(有害事象) 治療後数ヶ月から数年後に起こる副作用(有害事象)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| ・放射線皮膚炎 | ・腸の狭窄、腸閉塞（まれ） |
| ・全身倦怠感、食欲不振、吐き気 | ・肝臓、腎臓の機能障害（まれ） |
| ・白血球減少、他の血球成分の減少 | ・脊髄、神経麻痺（47Gyで5%） |
| ・下痢、腹痛 | ・発癌（きわめてまれ） |
| ・胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍 <i>NSA</i> | ・椎体の骨折 |
| | （小児の場合）・骨の成長障害、側弯 |

* 上記以外にもまれに予期せぬ副作用を生じることがあります。

以上に挙げた副作用は、生命に関わる事態になる可能性があります。仮に生じた場合は、最善の処置・治療を行います。放射線治療を行う上で、一定の頻度で起こる可能性があります。その際の医療費は通常の保険診療になります。

* () 内頻度：出典 B Emami, J Lyman, et al. Tolerance of normal tissue to therapeutic irradiation. Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys. 21:109-122;1991

F. 他の治療法について

G. 他の治療法について

手術、化学療法などがあり、患者さんの全身状態や病変の広がりにより選択されます。治療目的によっては、本治療は手術（術前や術後）や化学療法と併用されることもあります。放射線治療は治療する範囲の外にある腫瘍には効果がありません。

H. その他

●今回の治療に関することで、患者さん特有の補足事項

妊娠中は放射線治療はできません。妊娠されている、または、その可能性がある方は申告してください。また、治療後6ヵ月～1年程度は避妊することをお勧めします。

(1) 治療前・中に注意すべきこと

- ・禁煙してください。

(2) 治療後に注意すべきこと

・E. で説明した副作用が起こった場合には、主治医または放射線科にご連絡ください。

●プライバシーの保護について

治療記録、写真、レントゲン写真や検体の一部がプライバシーを侵害しない範囲で医学研究に使用される可能性があり、得られた知見を医学雑誌や学会に発表させていただく場合がありますが、お名前や個人を識別する情報は使用しません。

また、治療後の経過を電話、郵便などでご自宅などに問い合わせる可能性がありますが、差し支えない範囲で御協力をお願いいたします。

●予期せぬ治療の休止について

最近の放射線治療機器は安全機構が発達しており、少しでも異常を感知すれば、機械がストップするようになっています。非常にまれですが、予期せずに機械がストップし、復旧に数時間～一日程度かかることがあり、来院されても治療できないことがあります。なにとぞご了承ください。

I. 連絡先

住所：静岡県浜松市東区半田山1-20-1

病院：浜松医科大学 放射線治療科（主治医：中村 伸也）

電話：053-435-2665